

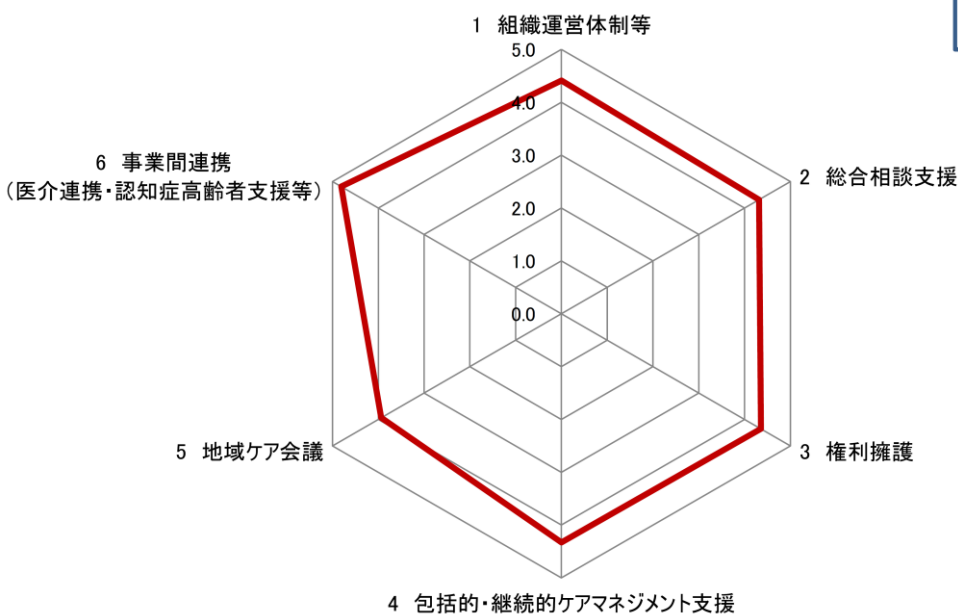
地域包括支援センター業務評価（平成 29 年度実績）について

1 評価方法

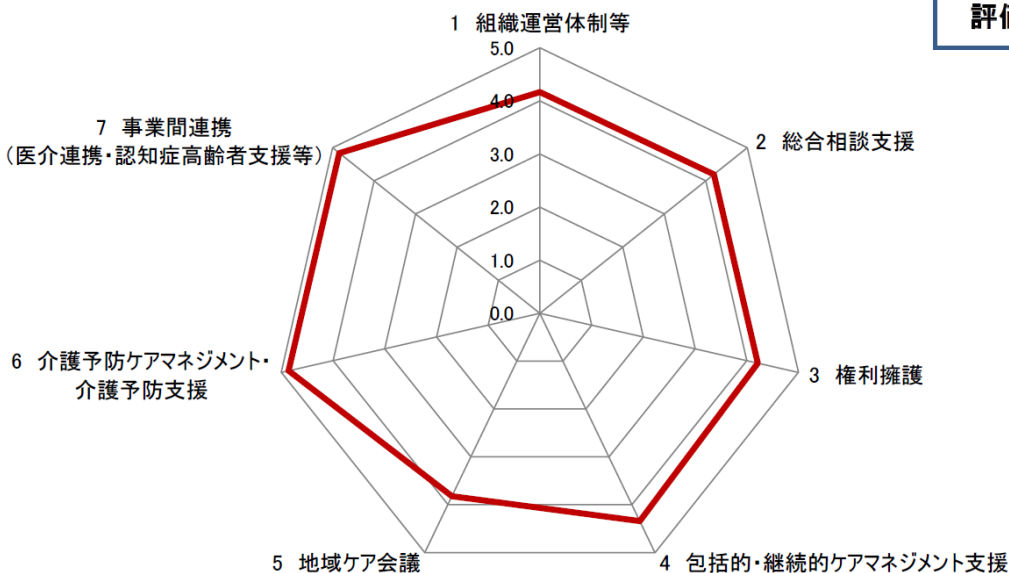
- (1) 各地域包括支援センターを訪問し、国評価の回答内容を確認、修正を行う。（各センターの評価基準を平準化）
- (2) 国の評価項目に①総合相談件数などの業務実績、②ケース対応記録、③市への提出書類や勤務実態の確認、④総合事業の実施状況など、市独自の評価項目を加え、総合的に評価を行う。

2 評価結果

基幹型包括支援センター平均



地域包括支援センター平均



包括名	講 評
堺基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・区のケアマネ連絡会は運営委員会等で企画を行い、成年後見制度や薬剤師・訪問看護師との交流会等を取り上げている。 ・多職種協働による事例検討会では、ホワイトボードを使用してグループワークを行うことにより、活発な議論が行われている。 ・地域ケア会議では、各圏域から上がってきた課題に基づき、区で共有、検討する仕組みができている。
中基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ代表が入った委員会でケアマネ連絡会等の企画、障害機関や生活援護課等との勉強会、包括と病院等連絡会など、区域内のネットワーク構築を進めている。 ・地域ケア会議は、課題集約シートを活用して身寄りのない方の支援等を取り上げ、支援方法の共有等を行い解決に取り組んでいる。 ・相談記録について、項目に分け端的にわかりやすく記載されている。
東基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢機関と障害機関の交流会（①個人の障害から高齢への移行→②世帯支援→③地域支援）、地域活動担い手交流会（10年後のサロンを検討）、多職種あうんの会（三師会、訪問看護協会、ケアマネ協会）、見立て委員会（虐待対応の共有・平準化）など、様々な課題に対し次年度以降の活動も視野に入れ、工夫を凝らした取り組みを行っている。 ・相談記録について、項目に分け端的にわかりやすく記載されている。
西基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働による事例検討会、医療と介護の交流&勉強会（2回開催）、市民向けセミナー等、医療と介護の連携の取り組みが多様で充実している。 ・高齢者虐待について、4月に関係機関（権利擁護部会）で前年度の振り返りを行い、3月に区全体のレビュー会議で西警察署も参加し意見交換を行っている。 ・区内の地域包括支援センターが開催した地域ケア会議の内容をまとめ、わかりやすく整理している。
南基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと訪問看護ステーション交流会の開催や、多職種事例検討会を企画委員会で検討して開催する等、多職種連携の取り組みを進めている。 ・地域包括支援センターが開催する地域ケア会議にできる限り参加し、上がってきた課題をまとめ、取り組み状況を進捗管理を行い、具体的な成果につなげている。
北基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会はケアマネ協会と連携して開催しており、多職種事例検討会についても同様に連携して進めている。 ・アウトリーチ型の相談室を関係機関と連携し行うことで、地域づくりにつながっている。 ・地域ケア会議や虐待に関する地域課題を区全体で共有する取り組みが望まれる。
美原基幹	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携会議（2回開催）、多職種協働による事例検討会、介護保険事業所連絡会における薬剤師会との交流会等、医療と介護の連携の取り組みを積極的に実施している。 ・相談記録について、本人の課題や支援方針、支援計画等を明記すること。
堺1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談記録について、担当者以外でも対応できるようにわかりやすく記載されている。また、相談支援が、終了まできちんと記録されている。 ・主任ケアマネを対象にアセスメント力・スーパーバイズ力の向上のため「気づきの事例検討会」（10回）の開催や、事業所を対象に医師を招いた「在宅看取りケア勉強会」（4回）など、関係機関とのネットワーク作りや研修の機会を設けており、積極的に活動を行っている。 ・地域ケア会議を非常に多く開催しており、サロンの立ち上げなどにつなげている。

堺 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会に関して、民生委員との交流や総合事業をテーマに開催し、制度の周知や地域との連携を推進している。 ・主任ケアマネ会議を開催しケアマネ連絡会の企画検討している。 ・地域ケア会議では、統合失調症の事例をもとに地域課題を明確にして、ケアマネ連絡会の内容に反映し運営できている。 ・認知症サポーター養成講座は、学校と連携してキッズサポーターの養成や保護者を対象に開催することができている。
堺 3	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域ケアマネ連絡会を運営委員会を開催し企画している。・圏域ケアマネ連絡会において、PT・OTを講師として招き、多職種連携と自立支援の取り組みについて進めている。・圏域ケアマネ連絡会において、制度が開始されたばかりの総合事業について取り上げる等、ケアマネに対して必要な情報を提供している。・相談記録について、項目を付けて記載することにより簡潔に整理されている。また、「今後について」という項目を頻繁に記載しており、常に課題及び支援方針を意識し、業務を行っている様子が伺えた。
堺 4	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域ケアマネ連絡会（年4回）を開催し、総合事業について取り上げる他、PT・OTを招き多職種連携の取り組みを進めている。 ・圏域ケアマネ連絡会の開催にあたっては、圏域主任ケアマネ連絡会を開催し、企画を行っている。 ・圏域内のケアマネ事業所（24か所）を訪問するなど、ケアマネとの連携や支援を進めている。
中 1	<ul style="list-style-type: none"> ・区単位で「ケアマネ連絡会」「ケアマネカフェ」「つながる事例検討会」等、多くのケアマネ支援、ネットワーク構築の取り組みを行っている。 ・圏域においても、ケアマネ連絡会を行い、ケアマネとの連携を進めている。 ・区ケアマネ連絡会で取り上げた「地域資源」について、圏域ケアマネ連絡会で改めて住宅地図に付箋で資源を貼り、より有益な情報にして活用できるよう取り組んでいる。
中 2	<ul style="list-style-type: none"> ・区単位で「ケアマネ連絡会」「ケアマネカフェ」「つながる事例検討会」等、多くのケアマネ支援、ネットワーク構築の取り組みを行っている。 ・圏域においても、ケアマネ連絡会を行い、ケアマネとの連携を進めている。 ・総合相談について「ケース共有・検討シート」を作成し、共有及び検討を行っている。また、そこからケースの課題や地域別の相談内容の分析を行い、より良い相談支援を実施できるよう取り組んでいる。
中 3	<ul style="list-style-type: none"> ・区単位で「ケアマネ連絡会」「ケアマネカフェ」「つながる事例検討会」等、多くのケアマネ支援、ネットワーク構築の取り組みを行っている。 ・圏域においても、ケアマネ連絡会を行い、ケアマネとの連携を進めている。 ・地域に対しての健康教育や介護予防の取り組みが充実している。
東 1	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域で年6回のケアマネ向け研修会の開催、区で主任ケアマネ交流会や多職種連携の取り組みである「あうんの会」等、ケアマネ支援の取り組みが充実している。 ・民生委員が参加して個別の地域ケア会議を開催しているが、そこであがった課題を地域で共有して、校区や圏域での地域ケア会議の開催につなげること。 ・相談記録について、支援方針や支援計画を明記すること。
東 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会については、経験年数に応じて研修会を開催する等ケアマネの育成に取り組んでいる。他区や医療機関などの関係機関と連携し、公開事例検討会を行うなど充実した内容である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議では、民生委員の見守り活動をテーマに取り上げ、民生委員が包括に相談しやすい関係につながっている。 ・総合事業の周知については、フローチャート作成する等工夫してケアマネに対して周知している。
西 1	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域のケアマネ対象の学習会では、ケアマネも企画に入り開催している。 ・担当する4校区すべてで、民生委員とケアマネジャーが参加する地域ネットワーク会議を開催し、顔の見える関係作りを行っている。 ・上記会議の内、2校区では地域ケア会議として地域課題の共有を行っている。
西 2	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症キッズサポーター養成講座を全小学校（5校）で地域住民も参加し開催している。 ・お元気ですか訪問活動の会議では、住宅管理センター（市・府・UR）も参加し、課題を共有している。 ・相談記録について、本人の課題や支援方針、支援計画等を明記すること。
西 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会では、医療と介護の交流会やロコモに関する研修会を開催している。また、多職種によるもんじゅの会で企画検討を行う等、医療と介護のネットワークの構築につながっている。 ・地域ケア会議では、救急要請をテーマに意見交換し消防署との連携の強化につながっている。民生委員を対象に見守り活動について振り返りを行い、民生委員の活動の推進につなげることができている。 ・ケース記録については、アセスメント、プランが記載され支援の方向性が明確になっていた。
南 1	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域ケアマネ連絡会を開催し、ケアマネとの連携を進めている。 ・圏域ケアマネ連絡会においてあがった課題（社会資源を知らない）に対して、区での検討にあげ、冊子「生活支援サービス・活動一覧」の作成につなげている。 ・個別支援の地域ケア会議において、警察も参加のもと徘徊高齢者の支援を取り上げ、行方不明になったとき対応等、参加者間の意識共有を図り、行方不明になる回数の減少につなげている。
南 2	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域ケアマネ連絡会を開催し、ケアマネとの連携を進めている。 ・圏域ケアマネ勉強会では民生委員も参加し、口腔ケアについて取り上げ、ドライマウス体験で高齢者の気持ちを理解するといった工夫した取り組みを行っている。 ・地域包括支援センターでは唯一担当校区制を取っており、地域のサロンを活用した支援やスーパーマーケットの撤退についての地域ケア会議の開催など、地域との連携の強さを感じられた。
南 3	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の取り組みとして、開設したばかりの堺地域医療連携支援センターの職員を圏域のケアマネ連絡会に招き、連携を深めている。 ・民生委員とケアマネの交流会を開催することにより、顔の見える関係を構築し、お互いの役割の理解を深めている。 ・地域ケア会議を積極的に開催し、個別課題の解決や地域のネットワーク作りに取り組んでいる。
南 4	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の全5校区で民生委員とケアマネの交流会を開催し、顔の見える関係づくりを行っている。 ・ケアマネ支援については、圏域ケアマネ連絡会を開催し、圏域内のケアマネ事業所訪問を行っている。 ・相談記録について、確実に記録すること、及び、本人の課題や支援方針、支援計画等を明記することを、センター内で共有し改善すること。
北 1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議について、圏域では介護予防、認知症、リハビリテーション、薬の管理をテーマに意見交換し多職種が参加することでネットワークの強化となっている。 ・あんしんネットワークでは、ケアマネや地域を対象に介護予防や総合事業の普及啓発に努めている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンや老人会にて保健センター等と連携し実施することができている。消費者被害やロコモ予防に取り組むとともに、マスク入れ等啓発媒体を作成し情報提供に努めている。
北2	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんネットワークでは、ケアマネや地域を対象に介護予防等の普及啓発に努めている。また、老人会からの依頼につながる等地域に広がる活動となっている。 ・看護学生の実習の受け入れを行うなど、医療と介護との連携を推進している。 ・認知症サポーター養成講座は、看護学校と連携した取り組みとなっている。
北3	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会に関して、区の連絡会を活用して成年後見制度やリスクマネジメントの研修会を開催されケアマネの資質の向上に取り組んでいる。以後は、圏域での取り組みにつながることを期待される。 ・認知症サポーター養成講座は、薬局と連携した取り組みとなり、さらに地域に広がる活動につながるものである。 ・多職種との連携した取り組みについて、ケアマネ連絡会に堺地域医療連携支援センターの職員を招き、センターの普及啓発に努めている。
北4	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会について、圏域型連絡会を立ち上げにあたり圏域の主任ケアマネと企画検討するなど、ケアマネ同士の横のつながりができるように運営している。また、司法書士を招いた事例検討会を開催しケアマネのスキルアップにつなげている。 ・地域ケア会議では、「あんしんネットワーク」にて総合事業、災害、介護予防等をテーマに取り上げ保健センター等の関係機関と連携した取り組みとなっている。また、地域課題である消費者被害に関する研修会を開催し予防に努めている。
美原1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議について、各校区に出向き民生委員とともに開催している。ケアマネとの連携が課題となり次年度に反映できる取り組みとなっている。 ・独自で生活支援アシスタントを位置付けて社協と連携した活動となり、地域づくりにつながるものである。 ・居宅介護支援事業所の巡回訪問は、ケアマネ支援につながるものである。事業所連絡会では関係機関が連携した取り組みとなっている。